

社会福祉法人むつみ福祉会

平成30年度社会福祉法人むつみ福祉会事業報告書

はじめに

平成30年度は、前年度から適用される社会福祉法の大幅な改正に基づく社会福祉制度改革として、定款変更、評議員の選任等々、新法に基づく各種手続き等を行いつつ新制度の目的に沿った法人運営を行ってきました。

また、法令、施設基準等に基づく適正な施設運営を日々心がけながら事業を進めてきました。具体的には、中期計画に基づき推進してきましたが、さらに一層利用者、家族、関係者から認められるよう適正な運営を図っていくことが各事業所に求められています。

特に、施設利用者に対する権利擁護、虐待防止対策の一層の強化と継続は引き続き最重要課題として取り組む必要があると考え、理事長、各事業所の長が参加する経営会議、幹部会議において、法人全体や各事業所が抱える問題・課題・その他対策を検討し、重要な事項については、理事会や評議員会に諮るなどして取り組んできました。また、各事業所においては、日々さまざまな問題・課題に対し、各関係者との連携協力を強め、より適正で充実したサービス提供といった共通目標に向かって一つ一つ取り組んでまいりましたので、その成果を中期計画を基に、報告いたします。

評議員、役員の皆様のご協力と、ご理解により平成30年度もスムーズに運営できましたこと厚くお礼を申し上げます。

I 地域と法人

地域と法人の関係は、「つながり」を持つため、信頼のある・地域に必要とされる法人になるため、やさしさあふれる地域協力をすすめてまいりました。具体的には、介護教室や、地域防災協定をとおして地域の方々との「つながりを」深めました。

1 介護教室

- 1回目 日時 6月24日(日) 午前10時から12時
場所 旧デイサービス 参加者・・・20人
内容 介護相談、高齢者疑似体験、DVD鑑賞、カフェ(ケーキ)振舞い、中原地区自治会に防災用品を贈呈(充電式ラジオ付きライト)
- 2回目 日時 12月9日(日) 午前10時から12時
場所 旧デイサービス 参加者・・・35人
内容 もちつき大会

2 地元とのつながり

- 11月14日 職員駐車場前の市道路舗装工事完了(上竜王野自治会と共同要望)
- 3月18日 花粉対策として、駐車場の杉、ヒノキの木を伐採

3 地域防災協定

平成28年6月26日に、中原地区自治会と協定書を締結いたしました。しかしながら自治会長の2年任期が多く、協定書締結意識の確認のため、7月20日（金）中原自治会長会の会議に出席し主旨説明をして協力をお願いしました。

II 地域と施設

1 地域で豊かな暮らしを支援

地域を、家族の集合体と考えられるならば、家族と施設の「つながり」による地域支援をしてまいりました。また、民生委員や公民館とのつながりを深め、居宅介護支援センターを中心にかかわっていくことで、制度等の理解を深め、各施設（グループホーム、デイサービス、特別養護老人ホーム）では、質の高いサービスを提供するように取り組んでいることを感じていただけるような施設づくりを目指してまいりました。

2 施設ごとの状況を報告します。

- ① 「(A) グループホームむつみ、(B) グループホームあゆみ、(C) デイサービス、(D) 居宅」 法人施設長 猪子 武

(A) グループホームむつみ

別紙（資料1）

(B) グループホームあゆみ

別紙（資料2）

(C) デイサービスセンターむつみ園

別紙（資料3）

(D) 居宅介護支援事業所

別紙（資料4）

- ② 「小規模特別養護老人ホームむつみ園」 施設長 山本 美佳

別紙（資料5）

③ 職員研修報告

○法人内研修（資料6）

○法人外研修（資料7）

④ 旧デイサービスセンターの利用について

1年間かけて検討してまいりましたが、これからは、「多目的室」として利用することといたしました。

平成30年度は、当法人のイベント利用（もちつき大会）、地元の会議等に利用してきました。今後も、「多目的室」として、いろんな利用活用をしていきたい。

Ⅲ 法人と施設

むつみ園では、第2期中期計画に基づき、職員の職場環境の整備や働きやすい環境づくりに努めてまいりました。

1、人員配置計画

職員と利用者（入居者）との信頼関係を進める観点から、昨年度に引き続き、職員を固定化、専門化するとともに将来各施設の中核となる職員を育成することに努めてまいりました。また各施設の主任、リーダーやそれに準ずるものに対しては、異動により他の施設の実務経験を通して、将来施設の長としての基礎固めができるよう配慮してきました。

2、職員健康管理計画

インフルエンザ感染時期には、面会人、職員全員にマスクの着用及び手指消毒等の実施、職員全員が健康維持に十分留意し、仕事に集中できるような体調、精神状態を保つことができるよう配慮しました。

3、職員健康診断

全職員対象に「松阪健診センター」へ委託し、5月7日～12日・11月7日に健康診断を実施し、衛生推進委員（施設長・看護師）を選任し、職員の健康保持に努めました。

受診結果については、衛生推進委員会を開催（7月16日、12月25日）し、職員個々の健康面に管理推進するよう配慮しました。なお、再検査の結果が出た職員については、その受診をされるように指導・確認しました。

4、福利厚生

（1） 年次有給休暇の消化促進に配慮しています。

（職員には、1日及び半日単位でなく、1時間単位での有給も認めています。）

（2） 7月1日から松阪勤労者サービスセンターに、職員40名が加入いたしました。

5、危機管理

（1） 防災訓練

1 利用者の安全な場所への避難・誘導・負傷者の救護・応急措置等、職員各人に定められた任務を確実に果たし、被害を最小限にとどめるため、年2回の防災訓練を実施（11月13日、3月29日）しました。

2 消防用設備点検については、専門業者に依頼・実施し（特に問題なし）、消防

署に報告しました。

3 防災協定に伴う実施

下表のとおり、嬉野振興局管内の避難所は開設されましたが、むつみ園への要請はありませんでした。

月日	台風	避難者総数	
		保健センター（内中原地区）	社協（内中原地区）
H30. 7.28	台風12号	10（1）	34（19）
H30. 8.23	台風20号	11（2）	35（16）
H30. 9. 4	台風21号	30（3）	47（27）
H30. 9.29	台風24号	52（5）	62（28）
合計		103（11）	178（90）

(2) 利用者の事故防止

利用者の安全かつ適切で、質の高いケアを提供する体制づくりに取り組んでいますが、下表のアクシデントの報告を受けました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
GHむつみ	1	4 (1)	1	2 (1)	3 (2)	3 (2)	1	1	3	1	3	2
GHあゆみ	1	0 (1)	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0
デイサービス	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1
特養	3	2	0	4	1	1	6	3	1	0	1	1

下段括弧書きは、インシデント

アクシデント 59件、インシデント 7件、計 66件

※1件1件カンファレンスを持ち、今後の対応策を講じてきました。

(3) 交通安全対策

万一の事故に備え、ドライブレコーダーを法人車全車15台（軽トラを除く）に設置いたしました。

平成30年度中に、送迎中に石垣にこすった等軽微な事故が6件ありました。いずれも塗装が剥げた程度でした。

IV 健全でタフな財政基盤の構築

中期計画では、①財源の確保、②戦略的投資ができる財務体質、③職員が財務に関心を持つ、の3点を掲げており、その主旨に沿って取り組んできました。

旧デイサービスセンター・GHむつみ園及びあゆみ園外壁工事を実施いたしました。指名競争入札で、中川地区のヤマモト住設が、8,800,000円で落札をいたしました。工期は、平成31年1月7日から3月13日で、工期内で工事が完了しました。

この外壁工事に、国庫補助金が認められ、5,672,000円が助成されることになりました。

むすび

平成28年7月1日に新施設デイサービスセンターを開設し、本年度(平成30年度)は、GHむつみ園・あゆみ園の外壁改修工事を実施し、法人施設の拡充、補修等当面の課題についてのハード面における解決を図ってまいりました。

一方ソフト面にあっては、

- (1) 平成30年度も、デイサービス事業の充実のため、職員の研修をはじめ、動く広告塔としての送迎車に本年度も中原幼稚園に協力をお願いし、園児(19名)に絵を描いていただきプリントにして車両に貼り付けています。
- (2) 理事長による職員面談を7月に実施し、職員の意欲を聞き取り、反映させるように努めました。また、改善交付金のアップも行いました。

今後も利用者や、地域の方の目線で取り組んでまいりたいと考えております。